



大東だより

No.2 令和 5年 5月 22日 (月)
海南市立大東幼稚園・小学校
輝け 大東っ子
かしこく やさしく たくましく



「1か月がたちました…」

初夏の日差しとともに木々の緑が 鮮やかに映えています。新学期が始まり、1か月たちました。各教室では、子どもたちの真剣な眼差し、表情から「新しいことができるようになりたい。」

「いろいろなことが分かるようになりたい。」という強い向上心が伝わってきます。

芝田校長先生お帰りなさい



「探求心の第一歩」

大休憩になると低学年児童の「虫かご貸してください。」の声が職員室に響きます。春の虫を見つけては、わくわくしながら観察している姿が見られます。また先日、二年生は生活科の取り組みとしてサツマイモやミニトマトの苗を学級園に植えました。担任の指示をしっかりと聞き、理科専科の助言に耳を傾けながら大事そうに苗を土に植え、水遣りをしている様子を見ると、自然や環境への探究心につながって欲しいものだと思います。



5月2日(火) 4年ぶりに公共交通機関 (JR や和歌山電鐵) を利用して遠足に行きました。

低学年は海南市わんぱく公園へ、中学年は海南 nobinos を見学後、海南市わんぱく公園へ、高学年は四季の郷公園 (和歌山市) へ出かけました。JR や和歌山電鐵を利用する際、子どもたちはマナーを守って静かに移動できました。今後も『ウィズコロナ』の時代にあった体験活動や行事を徐々に増やしていきたいと考えています。



